

## 形態画像写真カードを用いた効率的なグループ学習方法について

◎米田 操<sup>1)</sup>、前河 裕一<sup>1)</sup>、棚橋 伸行<sup>1)</sup>、森下 芳孝<sup>1)</sup>  
鈴鹿医療科学大学<sup>1)</sup>

## 【はじめに】

近年、臨床検査技師国家試験には形態学分野で、病理学、血液学、一般検査学、医動物学、生理学と多くの科目に属する写真問題が多く出題される。学生が形態を学ぶ手法は、教科書の画像、授業資料の画像で自身が勉強するしかなかった。そこで、正常形態像、疾患像、特殊染色像等に分類して順序良く関連性をもって形態学を理解することが必要であると考えた。学生が形態学を効率よく理解し持続的な記憶とするため、国家試験によく出題される画像を写真カードとして作成し、ゲーム感覚を取り入れたグループ学習方法を提案する。

## 【対象と方法】

対象：臨床検査学科4年生50名を対象に1班5-6人の班で実施。正常臓器、特殊染色、の写真を見て回答してその回答率、アンケート調査を行った。

方法：①カード作成：HE染色（30枚）・特殊染色（50枚）等のカードを作製（表面に染色写真・裏面に確認事項を記入）

②教員が正常臓器名または疾患名を1枚、言って、学生がカードを選択する。

③カードに関連する疾患、検査値等を教員が説明する。

## 【結果】

・回答率は、1回目の回答率は47%であった。2回目の回答率は75%。3回目の回答率88%まで上昇した。

・アンケート調査では、繰り返し実施することで記憶することができる。基礎的なことを教員が説明して応用編に入るので整理できる。病理学が得意な学生が班にいるので教えてくれる。

## 【考察】

①グループ学習参加型なので学生全員の知識向上につながり、教育効果は高いと考えられる。グループ内の競争心が芽生える。

②写真を理解するだけでなく、すそ野に広がる知識を身に付けることができる。

③繰り返し実施することで知識が定着する。

④検査部門（血液像、尿沈渣、超音波等）、放射線分野（CT、MRI等）に応用できると考えられる。

## 【結論】

カードで学ぶ形態学（病理学）グループ学習は国家試験対策に有用である。

連絡先 : 〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町 1001-1  
鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 臨床検査学科  
電話番号 : 059-383-8991 (代表)